

色面分割肖像画 千葉県立君津高等学校 芸術科 美術 五十嵐彩子

◆ この授業でつきたい力

- ・普段、私たちは、当たり前のように、たくさんの色に囲まれて暮らしている。
- 色が私たちの生活の中で果たす役割は大きい。基本的で、一般的な色の性質を学ぶと同時に色の見え方、使われ方や混色の仕方について学習し、色を表現や、生活の中で効果的に活用する力を育てる。
- ・アクリル絵の具の特性や、筆などの道具について理解し、表現に生かす力を育てる。

◆ 材料

グラビアの顔写真の白黒コピー（A3、4枚以上）、色鉛筆、HB鉛筆、消しゴム、ケント紙（A3）、トレーシングペーパー（A3）、アクリルアッシュ、筆（面相筆、平筆）、デザインパレット（絵の具皿）、筆洗、ラップ、色見本帳

◆ 展開 <制作手順> ……15時間

1. 雑誌等の印刷物（A4）の顔写真を、A3に拡大コピー（白黒）する。 ……事前準備
2. 白黒（無彩色）コピーされた写真を、明度差によって有彩色に色分けする。 ……4時間

明度	最も低い	低い ← 中間 → 高い	最も高い
白黒コピー（無彩色）	黒	黒に近いグレー 中間のグレー 白に近いグレー	白
色分け（有彩色）	①	② ③ ④	⑤

- ・黒から白までの明度差に適した有彩色5色を決め、色鉛筆で白黒コピーを直接5色に塗り分ける。
- 3. 色分けした色と色の境界線を鉛筆で描く。 ……1時間
- 4. 境界線をトレーシングペーパーに、HBの鉛筆で写す。 ……1時間
- 5. トレーシングペーパーの鉛筆で写した面を、ケント紙に固定して爪の腹でこすり、転写する。ケント紙にはコピーと左右反転した下絵ができる。 ……1時間
- 6. 下絵をアクリル絵の具で5色に、平塗りで塗り分ける。 ……6時間
- 7. 背景を肖像が栄える色で平塗りする。 ……1時間
- 8. 合評会を行う ……1時間

※ 注意点

1. コピーを用意する時、黒から白への明度の差があるものを用意する。
自然光の写真はグレーの部分が多くなり、適さない。スポットライトが当たっているような写真が適している。目鼻立ちがはっきりした顔、髪の毛の部分に輝きがあり、明度差がある写真が適している。
2. A3コピーの構図がそのまま下絵となるので、写真からコピーする時に構図を考えて、コピーする。
3. 色鉛筆でコピーを色分けする時、黒、白、黒に近いグレー、白に近いグレー、中間のグレーの順に行う。
4. コピーの画像を正確に、色分けや境界線を描く。
5. 平塗りは明度の高い色から行い、一つの色を均一に塗れるように、塗る面積分以上の量の絵の具をパレットに混色する。ムラのない平塗りをする。

◆ 観点別評価

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・技法や材料、用具の特性や効果を主体的に生かし、表現方法を創意工夫しながら主題を追及して表現しようとしている。	・明度差のあるコピーを用意している。 ・人物のイメージに合った美しい配色をしている。	・アクリルグアッシュの技法や材料、用具の特性を理解し、平塗りの特性や効果をいかして表現している。	・他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどをもち、理解している。